

2021年度

事業計画書

2021年6月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

2021年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1)学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的:奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

●2021年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に本人預金口座に振込む。(6年生以前は親権者預金口座)

下記学年は新学年(※①は薬学部6年生で1年留年の者、6年生は薬学部)

※6/21 現在、5月にて貸与辞退者(2名)を除く、年間貸与額は4.5月実績を含む

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	7年生 (1名※①)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	6年生 (1名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	360,000 円
	5年生 (0名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	0 円
	4年生 (19名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	6,960,000 円
	3年生 (22名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	7,920,000 円
	2年生 (19名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	6,840,000 円
	1年生 (25名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,000,000 円
	合計	87名	

②奨学金の返還

- ・2021年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示
- ・2020年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡
- ・2021年度返還額予定額(返還予定書より算出) 22,979,330 円(2021年3月31日現在)

③第46回(2022年4月進学)奨学生募集活動計画

- ・募集人員:大学生25名
- ・募集要項の発送 10月上旬
- ・対象校:高等学校 847 校 新潟県 142 校 山形県 77 校 長野県 126 校 福島県 124 校
青森県 91 校 秋田県 73 校 岩手県 95 校 宮城県 119 校
- ・募集締切:2021年12月下旬
- ・第一次選考委員会:2022年1月下旬
- ・第一次選考委員会にて定員未達の場合は、二次募集を行う(締切は2月28日)
- ・2月上旬に選考結果を通知し、一次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定する

(2)文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的:2013年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、故ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

*ドナルド・キーン先生は、2019年2月24日(日)に逝去された。当センターでは、今後もキーン先生が取り組み続けて来られた平和への思いや日本文学、日本文化の素晴らしさを展示や講演会等を通して伝え続けていく。それまで開館以降のキーン先生の講演活動や著作・出版等については展示・紹介がなかったため、キーン先生を慕う来館者からは、開館以後のキーン先生の歩みや活動について知りたい、または日本文学研究の原点を見つめた特別企画展を常設展示化してほしい、などの声が多数寄せられていた。当センターは、これらの声に応え、英文による展示概説と英語・日本語による音声ガイドを新たに加えて、2020年度は4月1日(水)にリニューアルオープンの予定だったが、新型コロナウイルス感染症の関係にて6月10日(水)に開館が延期となった。

新型コロナウイルス感染症他もあり2021年度においても制約はありながらではあるが、本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りとしている。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的:キーン先生の歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学・日本文化の面白さ・素晴らしさを発見・認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

開館期間 4月1日～12月25日 休館日 毎週月曜・火曜

冬季休館期間 12月26日から3月31日

年間開館日数:192日 来館者計画:1,500人

(2020年6月10日～2021年3月31日実績(1,041人)対比 144.1%)

(2019年4月1日～2020年1月31日実績(3,097人)対比 48.4%)

(2018年4月1日～2019年3月31日実績(1,755人)対比 85.5%)

事業収入目標額 600,000円 (1,500人×400円=600,000円)

●2021年度計画

【キーン先生の日本文化・日本文学研究の「志」を広く市民の心に宿し、実践につなげる活動を行なう】

- ①キーン先生や展示内容に関連するイベント(講演会、ギャラリートーク等)の開催
- ②キーン先生の研究テーマに関する連続講座(古浄瑠璃連続講座等)の開催
- ③センター所蔵のSPレコードやLPレコードの鑑賞会の定期開催

【企画展の計画】

目的:常設展示だけでは伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。

2020年度は、春のリニューアルにて特別企画展示スペースを縮小しこれまでの特別企画展示の一部を常設化することもあり別途企画展は実施していなかったが、2021年度においては、半減された特別企画展示スペースを活用して、「収蔵庫から選んだ資料展 陶芸家・梅田純一とドナルド・キーンの交流～日本初のドナルド・キーン文庫は四国・徳島の穴喰町に～」を開館期間中開催する。

【出張展示企画展(巡回展)】

他の記念館・図書館・官公庁や企業・学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

前年度は、開催場所にて講演会を実施することで、キーン先生の「志」を多くの方々の心に残し、また講師料による収益性の向上につなげるべく、東京都北区・日比谷図書館等との連携を行なおうとしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の実施のみに終わった。2021年度計画においては、現時点では具体的なものは無い。

【センター主催：講(公)演会・定期セミナー等計画】

目的：常設展示や企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関する講(公)演会セミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の持続性を高める。

但し2021年度については、新型コロナウイルス感染症対策等にて密を防ぐ等により、規模は縮小した形にて継続開催する予定としている。また開館8周年記念イベント等は今後検討していくが、次年度のドナルド・キーン生誕100周年及び次々年度のセンター開館10周年に向けての準備を優先して、大きなイベントについては基本的に控え、それらの準備等に注力していきたいと考えている。

●2021年度計画

①講演会・ギャラリートーク

キーン先生に関連した講師をお招きして開催。講演会は2021年度数回開催の予定。

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設(ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール・(株)ブルボン研修センター3階多目的ホール等)を使用。定員：30～50名前後

受講料：無料または500円～(公益目的事業収益)

[講演会]

5月29日 : 講演内容:「地図への旅」をめぐって 講師:霜田文子さん

6月26日 : 講演内容:「本は知識を、講演は情熱をつたえるもの」とキーンさんは言った
講師:梅田純一氏

10月23日 : キーン誠己氏&J・バイチマンさん対談講演会

[ギャラリートーク他]

8月14日 : ガダルカナル体験座談会

11月20日 : 萩原朔太郎朗読会(たろうの会)

②連続講座・講演会

展示内容の深掘りや、ドナルド・キーン先生が永年にわたり研究されてきた日本文学や、古浄瑠璃に関連する講演会・公演会を定期的に行なっていく。会場はドナルド・キーン・センター柏崎関連施設(ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール・株ブルボン研修センター3階多目的ホール等)を使用。定員:30~50名前後

[猿八座公演]

9月23日・10月31日 :公演演目・鑑賞料等は未定 出演:西橋八郎兵衛猿八座座長他

[連続講演会「ドナルド・キーンが遺したもの」]

4月24日:「ドナルド・キーンが遺したもの」第11回

講師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

受講料:無料(ただし入館料は必要)

7月17日:「ドナルド・キーンが遺したもの」第12回

講師:中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

受講料:無料(ただし入館料は必要)

[大型映像で映像ライブラリーを観る会]

新たなイベントとして、これまでの講演やイベント活動を記録し当センターで映像ライブラリーとして2020年度に整理・再編集の上保管・活用しているものを、大型映像ホールで上映・鑑賞する会を定期的に行なう計画としている。

4月から12月まで、毎月1回開催 時間等は未定、会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

③「クレデンザを愉しむ会」(ボランティア主催)

柏崎市内のSPレコード愛好家のご協力を得て、キーン先生が愛したオペラの名曲を中心に蓄音機「クレデンザ」を使用して懐かしくも新鮮な音を楽しむ会としてボランティア主催にて開催。

4月から12月まで、毎月1回開催 13時30分~14時30分

会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎1階ロビー

【教育普及活動】

①副館長及び学芸担当による展示解説会の開催

開館期間内数回程度開催を目標に進める。HP等にて日程にて公表し、集客増にも結び付ける。会場はドナルド・キーン・センター柏崎2階企画展示室他。参加費は無料。ただし入館料は必要。

②柏崎高校探求授業等への協力

2019年度実施の探究授業や2020年度実施の柏崎高校キャリア教育「職業人講演会」講師派遣への協力実施を本年度も進める。柏崎高校だけでなく、他の学校にも紹介して拡げていく。

【研究活動計画】

①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる

②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり(縁)の調査をすすめる

③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる

④財団報の作成準備~発刊

【PR活動計画】

- ①柏崎市内の商店及び事業者等への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動
柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施する
- ②新潟県人会・旅行会社・賛助会員(法人・個人)等に向けて、パンフレット等を発送
- ③柏崎市の観光タクシー「ちょっ得タクシー」への協力(4月1日～12月25日)
- ④柏崎コミュニティ放送「柏崎発！ドナルド・キーンの世界」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める
- ⑤㈱ブルボン及び同社取引先への再告知・来館誘導推進
- ⑥広告掲載(投入)
 - ・ラジオ広告 2019・2020年度は実施していなかったが実施に向けて再検討する
 - ・県内テレビ局タイアップ企画 実施に向けて検討する
 - ・新聞広告 新潟日報 2021年4月、6月、8月、10月 2022年3月
柏崎日報 2021年4月、6月、8月、10月 2022年3月
柏新時報 2021年4月、6月、8月、10月 2022年3月
読売・朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時継続する
 - ・その他、観光・旅行雑誌等への掲載を随時検討するとともに、新たな媒体掲出を積極的に検討・実施していく

【地域連携への強化活動】

目的:ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様にも有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

●2021年度計画

- ①「猿八座」及び朗読会グループ「かしわざき朗読サークルたろうの会」公演開催の協力
- ②柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織のイベント活動への協力及びボランティアの皆様の協力を得ることで当センターの周知と集客につなげる。

(主な協力内容)

場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用

(計画されているイベント等)

ロビー展示会(年7回程度計画)

(協力依頼内容)

展示案内、ポスター配布等イベント広報活動(FMピッカラ「ドナルド・キーンの世界」への協力含め)、各種イベントの計画実行、センター主催イベントの実行委員参加、他

【褒賞事業への取り組み】

ドナルド・キーン先生の研究の功績の顕彰だけでなく、次世代の育成や日本文学の研究・地域貢献を目的とした「褒賞」事業を推進する。

前年・前々年度は諸般の事情でほとんど進展することができなかったが、本年度の事業においては、これまでの計画を踏襲しつつも新たな考えを加えつつ、以下の活動を開始する予定。

●2021年度計画

- ①外部含め情報収集と事務局案の作成、外部阻害要因等の特定
- ②理事懇談会の開催(1~2回)
 - ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
 - ・理事会への進行状況の報告
- ③調査研究費として、予算計上(300千円)

(3)文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的:教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的:文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

●2021年度計画

本年度においても、例年通り実施する。

- ・予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・対象 各事業とも1件ずつとするが、応募状況・事業内容により予算金額を増額して対応の可能性あり
- ・2021年3月理事会にて、公募の承認
- ・HPにて公募(3月~5月)
- ・5月開催の理事会での選考・承認
- ・該当団体に助成金の給付

②外国人留学生への研究助成事業

目的:次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

●2021年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、前年・前々年度計画しておりながらコロナ禍等もあり、具体的活動にすることができなかった以下の活動を開始する。

- ・研究助成のプログラム内容の作成
- ・優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定(候補:東京日本語学校、国際交流基金等)
- ・理事会への進行状況の報告

(4)公益目的事業に関連する物品販売(収益事業)

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売する。

[販売商品]

- ・当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売
- ・当センターの専用ロゴ(キーン先生直筆)を印刷した商品の販売
- ・キーン先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

[目標値]

購入者目標人数 300人

(1,500人×20.0%:2020年度の購入者比率実績(19.0%)より)

事業収入目標額 495,000円

(300人×1,650円:2020年度の1人当購入金額実績(1,691円)より)

(5)管理部門の計画

- ① 事務局内人材(学芸員・事務員とも)及び施設管理者・後継者の育成
- ② 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備
- ③ 地元主導、地元への貢献体制の確立
- ④ 一般財団法人ドナルド・キーン記念財団他外部関係団体との協力体制強化
- ⑤ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「2021年度収支予算」は次項に記載。